

商務省、米国における競争力とイノベーション力に関する報告書発表（1月6日）

商務省（Department of Commerce）は1月6日、「米国における競争力とイノベーション力（Competitiveness and Innovative Capacity of the United States）」と題する報告書を議会に提出した。本報告書は、「2010年米国の技術・教育・科学における卓越性に関する意味ある促進機会の創造再授權法（America COMPETES Reauthorization Act of 2010）」において作成することが義務付けられていたものである。本報告書にまとめられている主な結論は、①連邦政府による研究・教育・インフラへの投資が、20世紀における米国の経済競争力、商取引の拡大、および雇用創出に主要な役割を果たしてきた、②近年米国政府がこうした分野への適切な投資を行わず、これに関する包括的な戦略を策定してこなかったことで、米国の競争力が阻害されてきた、③予算制限がある中で、これらの分野における支援を優先することは、米国経済に課せられた緊急課題である、の3点である。

なお、本報告書は、

<http://www.commerce.gov/sites/default/files/documents/2012/january/competes_010511_0.pdf>からダウンロード可能。

Department of Commerce, *Commerce Department Releases COMPETES Report: A Roadmap for Strengthening U.S. Competitiveness*

<http://www.commerce.gov/blog/2012/01/06/commerce-department-releases-competes-report-roadmap-strengthening-us-competitiveness>